

CASBEE 広島における重点項目の環境配慮設計概要

トータテ東白島PJ(西棟)

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳			
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進						
1.1 建物の熱負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.09	Q1	室内環境	2	温熱環境
	3.0	0.46			2.1	室温制御
	3.0	0.45	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制
小計	3.0	0.32				
1.2 自然エネルギーの利用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2.2	自然エネルギーの直接利用
					2.2	自然エネルギーの変換利用
小計	3.0	0.10				
1.3 設備システムの高効率化						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化
全住戸にエコキュートを採用						
小計	5.0	0.18				
1.4 設備システムの効率的運用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4.2	運用管理体制
小計	3.0	0.02				
1.5 資源・マテリアル対策						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
自動水栓、節水型衛生器具の採用	3.0	0.11	LR2	資源・マテリアル	1.2	雨水利用・雑排水再利用
積極的なグリーン購入法適合品の採用	3.0	0.01	LR2	資源・マテリアル	1.2	雨水利用・雑排水再利用
フロン・ハロンの使用回避	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2.2	非再生性資源の使用量削減
	4.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2.3	非再生性資源の使用量削減
	5.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2.4	非再生性資源の使用量削減
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2.5	非再生性資源の使用量削減
	4.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2.6	非再生性資源の使用量削減
小計	3.7	0.26				
1.6 ライフサイクルCO2排出率						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.7	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮
全住戸にエコキュートの採用						
自動水栓、節水型衛生器具の採用						
リサイクル材の積極的な採用						
小計	3.7	0.11				
1. 「地球温暖化対策」の推進の評価						
	3.6	0.72				
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進						
2.1 温熱環境の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出
	3.0	0.25	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮
	3.0	0.26	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
小計	2.0	0.97				
2.2 交通負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
住戸数に対し駐車場を100%以上確保するとともに、自走式駐車場を採用し、入出庫にもなう渋滞を回避した駐輪場を200%確保					2.3	地域インフラへの負荷抑制
小計	5.0	0.03				
2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価						
	2.1	0.16				
■ 3. 「長寿命化対策」の推進						
3.1 耐用性の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	4.0	0.12	Q2	サービス性能	2.1	部品・部材の耐用年数
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2.2	部品・部材の耐用年数
住棟は基礎免震を採用	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2.2	部品・部材の耐用年数
建物外壁には耐用年数40年以上の仕上材を採用	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2.2	部品・部材の耐用年数
耐久性のある、設備配管を採用	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2.2	部品・部材の耐用年数
	5.0	0.06	Q2	サービス性能	2.2	部品・部材の耐用年数
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2.2	部品・部材の耐用年数
小計	3.4	0.50				
3.2 設備の更新性						
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3.3	設備の更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3.3	設備の更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3.3	設備の更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3.3	設備の更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3.3	設備の更新性
小計	3.0	0.50				
3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)						
	3.2	0.12				
■ 重点項目の総平均(上記3項目)						
	3.3					